

農家が管理し維持されている農業のための施設

かみかつらがわとうごうぜき

亀岡の農地を潤す 上桂川統合堰

～上桂川用水土地改良区連合～

(亀岡市川東土地改良区、亀岡市牡丹餅堰土地改良区、亀岡市寅天堰土地改良区、亀岡市篠町土地改良区、亀岡市神田堰土地改良区、亀岡市亀岡土地改良区)



亀岡市北部に位置する上桂川統合堰は、亀岡市の水田面積の3割近い農地(約540ha)にかんがいであり、「京都の穀倉地帯」の亀岡の地を潤す大堰川の恵みの水を得るため、これまでから農家の皆さんが知恵と工夫、そして労力を費やしてまいりました。

今後も土地改良区連合では後世に受け継ぐための施設として維持管理してまいります。

※1ha=100m×100m

『井堰の変遷』

昭和の時代、亀岡盆地の桂川沿いに開けた水田を7つの井堰により各集落が取水しておりました。(寅天堰、馬路堰、江川堰、神田堰、堀越堰、牡丹餅堰、上中島堰)

『亀岡盆地の七堰が一つに 災害復旧』

昭和34年度重なる災害により、7つの井堰流失の大被害を受けました。それを機に府営上桂川統合井堰災害復旧事業として総工事費3億3790万円を費やして、昭和38年11月に統合堰として完成し、それを機に上桂川用水土地改良区連合が設立したものであります。

『統合堰の維持管理』

完成以降は、必要箇所の補修を都度行ってきましたが、経年劣化によるゲート稼働不良等の不具合が生じ、河川災害の恐れが懸念される状況となったことから、平成27年度から令和2年度に府営農村地域防災減災事業で全ゲート並びに油圧装置の取替、操作施設整備等を総工事費7億8203万円費やして改修しました。新たに近隣地域の安全を守るために遠隔監視装置を備え付け、常水時及び豪雨時の堰の状況把握により、迅速な対応が出来る施設となりました。



昭和20年頃の寅天堰



平成8年頃の統合堰